

第2章 環境情報の提供及び普及啓発

1 環境情報センターの運営

県では、県民の自然や生活環境問題に関する知識・情報の普及や環境に関する教育・学習や活動を支援する拠点として、平成3年8月に宮崎県環境情報センターを設置しました。平成18年7月には県立図書館内に移転し、同館と連携しながら、環境に関する情報の収集・提供、環境講座・出前研修の開催、環境保全アドバイザーの派遣、各種研修会への支援等の業務を行っています。平成28年度のセンター利用者数は、40,187人となっています。

■所在地： 宮崎市船塚3-210-1 宮崎県立図書館1F
 TEL：0985-23-0322 FAX：0985-26-4720
<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/center>
 E-mail：kankyojyoho@coral.ocn.ne.jp

2 環境月間及び環境の日の取組

国は、平成3年度から6月を「環境月間」として設定し、国、地方公共団体、民間団体等により全国規模での各種の普及啓発事業が実施されています。さらに、平成5年11月に制定された環境基本法で、事業者及び国民の間に広く環境保全についての関心を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるため、6月5日が「環境の日」と定められました。

平成28年度の環境の日及び環境月間に、県が実施した主な行事は次表のとおりです。

環境月間に県が実施した主な行事（平成28年度）

行 事 名	概 要	参加(対象)	期 間
ノーマイカーデー	県民に広く通勤時のマイカー利用自粛等の呼びかけ	県民	6月1日 ～30日
環境の日キャンペーン	街頭で、エコ啓発チラシ、エコ啓発グッズ（洗剤のいらないエコスポンジ）等を配布	県内8か所	6月5日他
CO2削減/ライトダウンキャンペーン	ライトアップ施設及び家庭における一斉消灯の呼びかけ	県内	6月21日 ～7月7日
環境月間に関する広報	ラジオ、テレビ、広報誌等による環境月間の周知・啓発	県民	6月中
〃	懸垂幕による環境月間の意識啓発	県庁舎 (7号館)	6月1日 ～30日
環境フェスタ2016	環境保全活動の普及啓発を目的とした講演会、県知事表彰式、事例発表等	県民	6月30日

3 啓発情報誌「ecoみやざき」の発行

環境に関する施策や話題、県内の環境保全の取組などを紹介した啓発情報誌「ecoみやざき」を発行しています。平成28年度は、年3回、各8,000部発行し、学校や事業所、団体等に配布しました。

4 宮崎県地域環境保全功労者等表彰（県知事表彰）

県では、昭和55年から、地域の環境保全に関し、特に顕著な功労のあった個人や事業者を表彰しており、平成29年3月までに359の個人・団体を表彰しています。

平成28年度は、下記の1個人・6団体が表彰を受け、6月30日に宮崎市民文化ホールで開催した「環境フェスタ2016」にて表彰式を行いました。

【平成28年度被表彰者】

区分名	個人・団体名	主な活動内容
個人	中村 豊	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定の天然記念物カンムリウミスズメの繁殖生態及び移動経路の解明のための調査研究を28年間継続して実施。 ・生息地近隣の住民への講演や観察会の開催をはじめ、混獲等を防ぐために漁業関係者や磯釣り客への呼びかけをするなど、カンムリウミスズメの保護や生息地の環境保全に貢献。
団体	旭化成F P株式会社 日向事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全意識の高揚を図ることを目的として、平成17年から事業所職員を中心に、細島港の工場周辺の歩道の清掃活動を実施。 ・活動における参加人数の増加や、活動初期と比較したごみの投棄量の減少など、港湾地域の環境美化に貢献。
	木花区自治会 (権現山公園 特別愛護会)	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市権現山公園設立当初より、毎月1回以上の清掃、草刈および花木の剪定、植樹を継続。 ・平成25年からは活動範囲を拡大し、権現山公園から木花公園への遊歩道の復元、整備に寄与。
	日向商工会議所 女性会	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止のための啓発活動として日向市駅前広場で「100万人のキャンドルナイト」を毎年開催。 ・廃油や使用済みペットボトルで作ったエコキャンドルに火を灯すイベントで、エネルギーの節約や、地球にやさしいライフスタイルへの関心を高めるなど、地域環境保全に貢献。
	リバーフェスタ のべおか 実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさとの川再発見」をテーマに開催するリバーフェスタのべおかの催しを通して、市民に河川環境保全等への理解の促進を実施。 ・催しにおいては、川の生物の観察や水質調査、水質汚濁防止パネル展示などの学びのコーナーに加え、参加者全員河川清掃実施。
	社会福祉法人 カリタスの園 ドンボスコ保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度エコ保育園に認定され現在に至るまで、約5年間にわたり活動を継続。 ・県や他団体の様々な制度を利用し、ごみ問題、節電節水の大切さを学ぶ機会を取り入れるなど、環境教育を積極的に実施。
社会福祉法人 木花福社会 鏡洲保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年度エコ保育園に認定され現在に至るまで、約11年間にわたり活動を継続。 ・水辺の環境調査の実施などによる美しい川づくりの推進に加え、企業が実施する幼児向け環境教育プログラムを積極的に活用し、省エネやエコ活動等を学ばせるなど、子どもたちに実際に体験させて環境について意識付けする取組を積極的に実施。 	